

開校 140 周年記念特別展 今昔蔵書展 第 5 回 和本紐解

平成 24 年 11 月 14 日(水)～11 月 27 日(火)

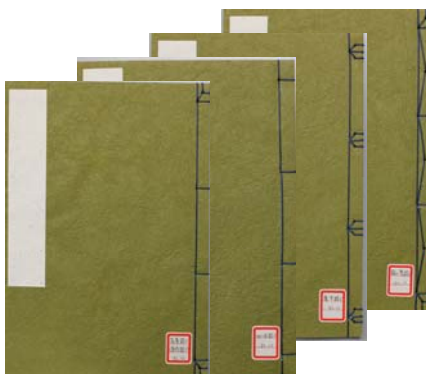
立正大学の淵源は 1580 年に飯高壇林が発祥したことに始まり、今年で開校 140 周年を迎えました。大崎図書館では 140 年の歩みを貴重書収集の視点から捉え「今昔蔵書展」と題して全 8 回の展示を企画いたしました。各回に、四季のいとなみ、学問へのしるべ、貴重書へのいざない、日蓮をたずねて、和本紐解、江戸遊、十二支彩々、開国一望、の副題を設けております。

第 5 回目今回は、「和本紐解」です。昔から、さまざまな製本の装訂(仕方)の書物が作られ、目的に応じて改良が加えられてきました。今回は和本を形づくる装訂をはじめ、書型や写本、版本など本のさまざまな形態をご紹介します。書誌学の入門としてはもちろん、和本への親しみ、魅力を感じていただく機会となれば幸いです。

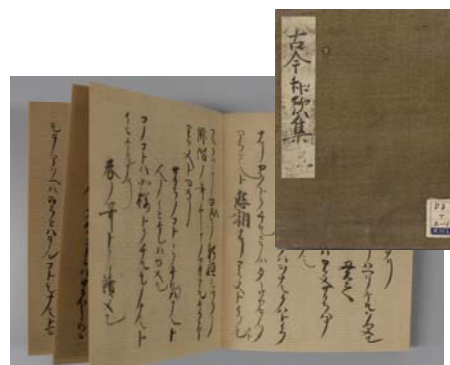
【A. 装訂】



列帖装



康熙綴・四ツ目綴・亀甲綴・麻の葉綴



粘葉装

【B. 書型】



懐中本



一枚物



豆本

【C. 写本】



奈良絵本



臨模本

【D. 版本】



丹緑本



多色刷り